

しずく

No.
129
2024.4

●編集●
広報広聴常任委員会
●発行●
岩手県栗石町議会

議会だより

●今号の主な内容

町民の声を届ける…2

特集令和6年度予算を認定…4

3月定例会…10

町政を問う

一般質問 8議員が質問…14

委員会レポート…20

ふるさとへの便り(95)…23

●今号の表紙／なかよしシリーズ

「わたしたち3きょうだい」…24

特集
令和6年度予算を認定



町民参加型の 議会を目指す

あなたの声を
政策に反映します



坂井尚樹 議員

「ふるさと雲石応援
寄附金」増額への
取り組み



徳田幸男 議員

畜産酪農家へ
遮熱対策を含めた
必要経費の補助を



高橋公史 議員

若者・子育て世代
の移住定住
促進の支援に期待



小笠原百合子 議員

農畜産物と観光資源
生かし観光力を
高める施策を



Hisayama Hisayuki 議員

自転車ツアー
ガイドの養成に
352万円



岡本忠美 議員

町民生活や
行政サービスの
さらなる向上に期待



金子一男 議員

少子化対策の
観点から給食費を
無償化に



幅秀哉 議員

遊休農地活用、
耕作放棄地の
減少対策を

届ける まち



堂前義信 議員

町の観光の要、
観光地域づくり
法人登録どうなるか



横手寿明 議員

町内各スポーツ施設
を活用した大会、
合宿の誘致



西田征洋 議員

農家が生活向上
できるような
予算配分を



山崎留美子 議員

森林環境贈与税
3800万円
有効な活用を



岩持清美 議長

人件費、民生費は
減少することはない
財政の硬直化にならない
よう

町民の声を



加藤眞純 議員

施設の指定管理、
大型委託の総合的
採算性の監視



杉澤敏明 議員

観光振興策の強化と
要の観光協会への
支援強化を

次のページは
令和6年度 予算特集

特集

令和6年度
予算を認定

持続可能でより良い 社会の実現を

令和6年度予算特別委員会（堂前義信委員長、岡本忠美副委員長）は、令和6年3月12日から4日間で行われ、一般会計など10会計について活発な議論が交わされました。ここでは、栗石町第三次総合計画に基づく施策大綱ごとに各委員から出された重点事業等への主な質疑を取り上げました。

学びを通じて
生きがいを感じるまち
《教育》



温かい給食をほおぼる児童



150周年記念事業が開催される栗石小学校



笑顔いっぱい富士市と栗石町の子どもたち



民宿の利用も検討していく交流事業

教 【上野委員】栗石小学校150周年記念事業の開催日程と記念誌等の発行は。

答 【教育次長】11月16日学習発表会とともに記念式典と祝賀会を開催する予定である。事業の中で航空写真の撮影や記念誌の作成を検討している。

教 【金子委員】他の自治体では給食費無償化に取り組んでいるところがある。町でも少子化対策という観点から給食費を無償化しては。

答 【教育次長】給食費無償化を行っている自治体のほとんどは給食センターで効率的に給食を作っている。町では各学校で温かい給食を作り提供することに力を入れている。保護者には2分の1の負担をお願いしながら給食の中身を充実させていく。

教 【横手委員】富士市との少年交流事業で、これまではホームステイという形で宿泊していたが、町には民宿が数多くある。町の子どもと富士市の子どもを民宿に宿泊させて交流

を図ることは子どもたちの貴重な経験にも繋がることから検討しては。

答 【生涯文化スポーツ課長】町内の民宿等の宿泊施設といえども

宿泊者には負担が大きくなるため安価な青少年の家に宿泊している。町内の民宿等に宿泊し交流が図られるよう検討していく。

教 【杉澤委員】栗石高校への入学試験合格者は28名で例年になく合格者が多くでた。教育委員会ではどのように分析しているか。

答 【教育次長】栗石高等学校を支援する会の活動、栗石中学校の協力、OBや関係者によるPR活動等地道に行った成果と捉えている。

教 【横手委員】アーチエリセンターの屋外に、雨が降って水が溜まるため側溝を設置するが、施設脇には屋根付きの通路が整備されている。側溝は必要か。

答 【生涯文化スポーツ課長】雨天時に高校総体の記録会等を行ったことがある。その際にグラウンドに



他種目での冬期間利用が検討されるゲートボール場



フィットネスでメタボリック対策を



雨天に備え側溝を整備予定のアーチェリーセンター



毎日かかさず歯みがきで虫歯予防



手厚い支援を周知し生徒数増に繋げたい栗石高校

答 健康子育て課長 幼児の歯科検診は1歳6か月、2歳児、2歳6か月、3歳児、3歳6か月という

保 常にも多いと聞くと、虫歯予防への取り組みは。

いきいきととともに幸せを感じるまち《保健・医療・福祉》

答 生涯文化スポーツ課長 令和5年度の実績は第1クールが延

教 岡本委員 生涯健康プロジェクトフィットネス事業への参加状況と取り組みは。

答 生涯文化スポーツ課長 過去の記録会に使用したこともある。ゲートボール場に限りず多様なスポーツに取り組みができるよう検討していく。

教 高橋委員 ゲートボール場を使用しない冬期間などには、野球やテニスの練習場としての活用を検討しては。

水たまりがでず競技を進める上で条件が悪いことから改善する。財政との調和を図りながら施設運営に努める。

保 上野委員 新型コロナウイルス感染症予防接種に係る予算は計上されていないが、その理由は感染症法上の位置付けが5類感染症になっ

時期に集団の形で専門医師の指導を受けながら実施している。

答 教育次長 本年度、教育委員会のホームページが見づらいくという事で検討会を開催した。ホームページを見やすくすることは教育委員会の課題と捉えている。栗石高校への支援のみならず、しっかりと情報を提供するように努める。

教 畠山委員 栗石高校に入学すると入学時に必要な経費の半額を補助する等の支援があるが、町の教育委員会のホームページにも支援について掲載し周知を図るべきでは。

べ753名、第2クールが延べ661名、第3クールが延べ541名の合計1955名である。一般から幼児まで幅広い対象者をターゲットとして健康寿命が延びるように取り組んでいく。

たためか。

答

【健康子育て課長】昨年5月から感染症法上の位置付けが5類感染症に移行し、全額公費による接種は本年3月31日までである。来年度以降の対策は65歳以上の高齢者、60歳から64歳の特定疾患がある方への定期接種ということで進めている。これらの予算は予防接種事業に計上している。

保

【横手委員】新婚新生活支援事業の予算増額理由と実績は。

答

【総合福祉課長】令和6年度において国と県が新たに補助金を支出するため増額した。実績は令和4年度が3組、令和5年度はこれまで4



老朽化が進む老人憩いの家「鶯宿荘」

組である。

保

【山崎委員】老人憩いの家は築後年数を重ね老朽化している。

老朽化した施設に大きな指定管理料を支払っているが、近くには集会所や民間の温泉もある。いつまで施設を継続するか。

答

【総合福祉課長】施設の老朽化が大分進んでおり大きな故障等も考えられるため、指定管理は2年更新としている。利用客も比較的多いので活用できる範囲で活用し老朽化の進み具合を見て継続の判断をする。

保

【岡本委員】シルバー人材センターへの加入者数と加入者増加



駅前の花壇整備をするシルバー人材センター会員

に向けた取り組みは。

答

【総合福祉課長】令和4年度末での加入者は98名である。加入者は除雪や草刈りなどの事業を行っており、加入者が増加すれば非常に良い傾向であると捉えている。自助努力的な部分もあるが活躍する場として支援していく。

笑顔を通じて豊かさを実感し
笑顔で稼ぐまち《産業》

保

【畠山委員】出産祝い金として600万円を予算計上しているがその積算根拠と、今後も第1子から10万円を支給することを続けていくか。

答

【子ども子育て支援室長】妊婦の届出数や数年の実績を加味したり、また転入ということも視野に入れ積算している。支給額は財政状況を見ながら検討していく。

産

【徳田委員】昨年の猛暑で家畜に被害が出たが、畜産酪農家から被害状況や要望等のアンケート調査をしているか。また、遮熱対策を含めた必要経費の補助を検討しては。

答

【農林課長】農家へのアンケート調査は行っていないが、広く情報収集や要望把握に努めている。農家の声を注意深く聞くなど時期を失することなく必要な支援をしていく。

産

【坂井委員】町内の事業者が県外の物産展に出展した場合の補助としての予算が計上されているが、町以外の県内での物産展に出展した場合にも適用する考えは。

答

【観光商工課長】大都市等県外での物産展に参加する事業者は自己資金で参加しているため、その応援として1事業者最大5万円を補助する。それ以外の物産展に対する補助となれば規模も大きくなり距離や時間を考慮して別な形での補助を検討していく。

産

【西田委員】リンドウの生産が拡大傾向にあるが、その取り組みと支援策は。

答

【農林課長】町のリンドウ生産が伸びているのは栽培管理を充実し実績を上げて販売額に結びつけていることである。県の補助事業も使い



販売額が順調に伸びているリンドウ生産



有効な猛暑対策が必要な牛舎



足湯新設で集客が期待される道の駅



アユの激減、急がれるカワウ対策

ながら新規参入される方や新たな農地に新植される方についても引き続き応援し農家の収入を上げるために取り組んでいく。

産 【杉澤委員】民有林整備アドバ
イザリー業務委託は新規事業だが、そのねらいは。

答 【農林課長】令和4年から2年間、私有林の航空レーザー解析を行い、そのデータを元に森林組合の協力を得ながら、連携して適正な森林環境を維持していくための計画を策定する事業である。

産 【幅委員】アユ釣りの愛好家から、ここ数年アユが全然釣れないという話を聞く。町では漁協に補助金を出しているが、放流事業の内容とアユが釣れない原因と対策は。

答 【農林課長】アユの放流量は漁協で年間約1トン放流している。漁協には釣り券を購入し釣りをしたが一匹も釣れないという苦情が寄せられている。原因としてカワウに食べられることもある。漁協や有害対策の実施体と連携しながらカワウ対策に取り組んでいく。

産 【小笠原委員】足湯が道の駅車石あねっこに完成したが、利用状況と誘客に向けた取り組みは。

答 【観光商工課長】昨年11月に完成したが源泉が冷たく冬期間は営業せず、本年4月にグランドオープンする。ペット専用の足湯もあり客層の変化による集客を期待している。道の駅は主要な観光施設で、集客の中心にあり町の魅力を伝えるよう努力していく。

産 【徳田委員】鶯宿温泉の旧ホテルが特定空き家※に該当するため、町で取得し解体後土地を適正管理することであるが、土地の活用方法は。

答 【地域整備課長】観光レクリエーション施設という枠の中で、地元の方々と協議しながら具体的な内容について検討していく。

※特定空き家…建物に汚物や落書き、立木の繁殖、既存の景観に関するルールに著しく適合しない状態

豊かで誇れる自然を守り育て
子どもたちにつないでいくまち《環境》

環 【加藤委員】町にバイオマス発電所を誘致することにより、森林振興や町有地有効活用という観点からも非常に良いものと捉えている。町としての考えは。

答 【町民課長】CO₂（二酸化炭素）を削減するという観点から再生可能エネルギーの導入は非常に重要なことと捉えている。再生可能エネルギー事業者の意欲的な町への進出を歓迎しつつ、場所を選定しながら誘致計画を進めていく。



なかなか進まないゴミの再資源化

環 【西田委員】ごみを分別回収して資源化する方針を打ち出している近隣自治体があるが、町でも取り組んでは。

答 【町民課長】広域8市町で組織する盛岡広域環境組合の新焼却処分場では、製品プラスチックの再資源化に取り組むことを協定で定めている。新焼却処分場ができるまでの間、滝沢・雫石環境組合と協議しながら製品プラスチックの再資源化、商品化に取り組んでいく。



これからも重要な資源回収

みんながつながって
安全に住めるまち《安心・安全》

安 【坂井委員】消防団員数と充足率は。また、火災防止のための啓蒙活動をどのように高めるか。

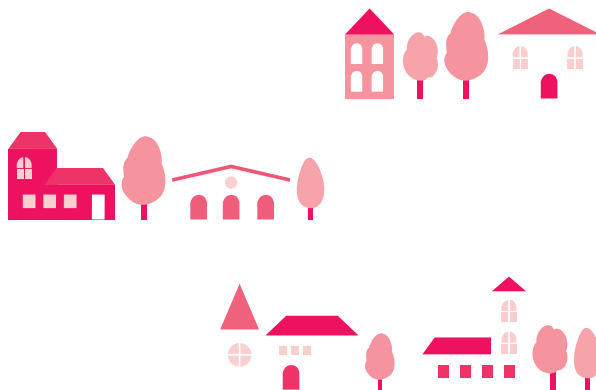
答 【防災課長】消防団員数は257名で、充足率は70・03割である。消防専門員による講話、研修会、防火指導のほか消防団員によるポンプ車での広報活動を充実していく。

安 【徳田委員】防犯カメラの設置状況と、個人宅に防犯カメラを設置する際の補助は。

答 【防災課長】令和5年度は2基設置、令和6年度も2基設置する予定で進めている。個人への補助については令和6年度中に検討する。



安心安全を守る防犯カメラ





客足の伸びを期待する町内温泉地



消防団員の確保は喫緊の課題



町の広大な農地を守るため急がれる農家支援

総括・歳入

【小笠原委員】昨年5月から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に移行し、旅行業が回復傾向にあるが温泉施設の閉館等で客足が鈍い。そのような状況で入湯税の収入を増額した理由は。

答

【総務課長】温泉施設の休業や閉館は入湯税に大きく影響するものと捉えているが、昨年11月時点では令和元年度と比較して76%程度まで回復している。これを基に客足も伸びていることから令和元年度当時の80%程度までは伸びるものと見込んで予算編成した。

総括

【幅委員】農家支援を強化するなど対策を充実させ、後を継いでいける政策を町長に期待したいが、その意向を伺う。

答

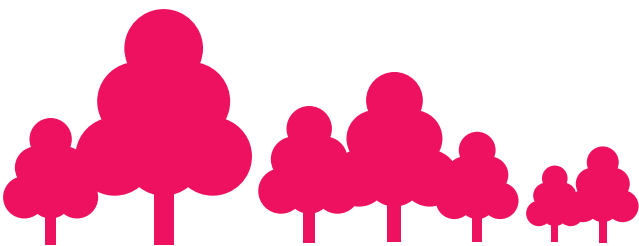
【町長】農業後継者を確保し育成して大規模な農業を行っていかねば町の広大な農地を守っていく。農業後継者に対する支援をしながら効果的な政策に取り組んでいく。

総括・歳出

【金子委員】車検切れ公用車の運転を防止するため、町ではどのような管理体制を施しているか。

答

【総務課長】公用車は総務課で管理しているものと各課で管理しているものがある。管理方法は管理台帳を備え付け車検の更新時期を確認するなど徹底し漏れがないよう努めている。



令和6年度 一般会計歳入 歳出など 10会計を認定

- 「第三次町総合計画後期基本計画」が令和6年度よりスタート
- 若者・子育て世代の移住定住に最大100万円を補助
- 3歳未満児保育料の無償化、児童手当の拡充

**令和6年度予算
総額約171億円を審査・可決**

令和6年3月定例会は、2月29日から3月18日までの19日間の会期で行われました。

本定例会では、報告1件、条例の制定及び一部改正17件、補正予算11件、当初予算10件、同意11件、議員発議1件、その他8件を審議しました。

令和6年度予算特別委員会（委員長：堂前義信、副委員長：岡本忠美）は、10件の当初予算を審議し、全て原案通り可決しました。



さらに子育てしやすいまちづくりを進めます

一般質問は8人の議員が登壇し、適切な町政運営が行われているか、町当局の考えをたどりました。

令和6年度当初予算

会計名	予算額（対前年比）
一般会計	103億9,000万円 (4億3,000万円減)
国民健康保険特別会計	18億6,600万円 (1億4,600万円増)
御明神財産区特別会計	1,668万4千円 (313万2千円増)
介護保険事業勘定特別会計	20億9,854万9千円 (2,932万4千円増)
介護保険介護サービス事業勘定特別会計	1,143万1千円 (74万4千円増)
栗石町立栗石診療所特別会計	4億2,038万円 (3,196万4千円増)
後期高齢者医療特別会計	2億2,600万円 (2,000万円増)
水道事業会計	7億4,229万5千円 (2,493万7千円増)
簡易水道事業会計	4,467万7千円 (6年度から公営企業会計へ移行したため前年対比は無し)
下水道事業会計	12億8,357万1千円 (5,435万5千円増)
合計	170億9,958万7千円 (8,884万4千円減)

「こ」が変わる

3歳未満児保育料、第1子から無償化
保護者の経済的負担の軽減を図ることにより、安心して子どもを産み育てる環境づくりを推進するため、唯一保育料が発生している3歳未満児の第1子も町独自に無償化することになりました。

粟石町若者向け住宅取得支援基金条例を制定

令和6年度から実施の「粟石町若者向け住宅取得支援事業」に要する経費に充てる新たな基金を設置するため、条例を定めることになりました。原資は、ふるさと納税です。39歳以下の方が町内に住宅を取得する際の支援として、最大100万円を補助します。

「第三次町総合計画後期基本計画」策定

令和6年度から9年度までの4年間、「みんながつくる 未来につなぐふるさとしずくいし」を町の将来像と位置付け実現を目指すもので「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を含めた地域活性化に取り組み、持続可能なまちづくりを推進します。

主な質疑

Q 【横手議員】粟石町若者向け住宅取得支援基金条例の制定は、補助金最大100万円が大きな目玉だが、このままの制度では20万円しか補助されない人が出てくる。基本額を60万円にした方が、インパクトが出ると思うがどうか。

A 【地域整備課長】補助金を利用される方々がどういった意向を持って利用されるのか、町内全体の住宅の取得状況などを勘案しながら検討する。

Q 【徳田議員】第三次粟石町総合計画後期基本計画を策定するにあたり、前期基本計画の評価部分と反省部分をどのように生かし反映させたのか。

A 【総合政策課長】新たな取り組みも、前期基本計画から後期基本計画に至るまでに、社会状況の変化によって出されたものもある。前期基本計画からの継続的な取り組み、新たな施策も後期基本計画に取り入れている。

Q 【上野議員】粟石銀河ステーション管理運営事業は、指定管理が何も行われていないのではとの声がある。なぜ1年間変更等をしなかったのか。

A 【観光商工課長】管理期間4年の基本協定を結び、年度ごとに年度協定を結んでいる。年度協定の変更は最終的な清算をもって変更するので、変更が必要であれば3月末になるため。

討論要旨

公債費依存が高い傾向から脱し切れていない

反対

【西田征洋議員】

ここ10年間の地方債年度末残高が6億9000万弱ほど積み増しになっている。町は、なるべく減らしていくのが望ましいと言っているが、本予算案では今までの域を出ない規模の公債費を計上している。平成25年に起った大雨被害前の財政運営を見習うべきだと思う。議会の中で提起してきた町民福祉の充実策、コロナ禍で甚大な被害を被っている農家への救済、特別会計の値上げラッシュなど課題の部分が取り入れられていないので反対する。



持続可能な地域社会の構築を評価

賛成

【岡本忠美議員】

令和6年度一般会計当初予算は、過去最高であった5年度を下回ったものの、過去2番目の予算規模となっている。歳入においては、若者向け住宅取得支援事業に対し、基金を創設するなど財政支出に対する工夫もされている。歳出においては、若者、子育て世代に向けた移住定住と結婚、出産、子育て支援の推進とした取り組みが一つの柱に捉えられている。持続可能なまちづくりに一層の工夫がされることを期待し賛成する。



指定管理

公の施設の指定管理者が決定

○粟石町老人憩の家 鶯宿荘

(株)寿広 (代表取締役 太野真一) に継続 (指定期間2年)

○コテージむら施設・粟石町体験農園

特定非営利活動法人 しずくいし・いきいき暮らしネットワーク (理事長 川口英敏) に継続 (指定期間4年)

○**栗石町まちおこしセンター**

特定非営利活動法人 まちサポ栗石
(理事長 櫻田七海) に継続(指定期間4年)

同意

農業委員会委員(任期 令和6年5月15日～令和9年5月14日)

氏名(敬称略)	行政区
新 藤村正彦	上町二
新 晴山英俊	晴山
新 川口英敏	片子沢
再 山崎忍	鶯宿
新 高橋浩之	極楽野
新 松本光正	上西根
新 砂壁純也	土橋
新 前茂見	中南
再 八丁野よし子	八丁野
新 黒沢菜穂子	黒沢
再 坂下千枝子	中沼

※新：新任 再：再任

答申

人権擁護委員

氏名(敬称略)	行政区
再 阿部直樹	安庭
再 鈴木豊	晴山
新 笹川純子	野中

※新：新任 再：再任

**令和6年第1回臨時会
(1月17日)**

令和6年第1回臨時会が1月17日に開かれ、専決処分1件について承認。また、令和5年度栗石町一般会計補正予算(第7号)を可決しました。

一般会計補正予算(第7号)

補正前の額	116億7813万8千円
補正後予算額	120億4650万7千円
補正予算額	3億6836万9千円

主な質疑

Q 【杉澤議員】和牛繁殖農家の飼料費高騰への追加支援が必要では。

A 【農林課長】6月補正予算での支援と合わせると飼料費高騰に対し52割ほどの支援となる。できうる最大に近い支援だと捉えている。



追加支援が必要な和牛繁殖農家

Q 【横手議員】ふるさと栗石応援額だったが、これを一過性にしないための取り組みは。

A 【総合政策課長】寄付していただいたの方に町を紹介するパンフレット等を送付して、より町を知っていただき、さらなる寄付の増加、繰り返し寄付につなげていく。

Q 【徳田議員】町道仁沢瀬・小松線の道路舗装補修工事で、グリーンベルト(安全帯)の設置はするのか。

A 【地域整備課長】今回の工事は道路の補修のみとなる。グリーンベルトの設置は令和7年度以降を予定している。



グリーンベルト設置が望まれる町道

訃報



上野三四二議員逝去

上野三四二氏(享年86歳)が去る3月28日に急逝されました。葬儀は、上野家と町議会の合同葬として4月2日、臨濟寺でしめやかに営まれました。

故上野三四二氏は平成15年5月に初当選以来、現在に至るまで6期連続当選。21年目の奉公中でした。令和3年10月から令和5年7月まで副議長も勤められ、また議会運営委員長などの要職も歴任され、地方自治の進展と町勢の発展に多大な貢献をされました。

ここに故上野三四二氏の生前のご功績をたたえとともに、謹んでご冥福をお祈りします。

令和6年第2回雫石町議会定例会 | 議決結果等一覧

会期：2月29日（木）～3月18日（月）

議案等 番号	件名	高橋 公史	小笠原 百合子	畠山 操	金子 一男	坂井 尚樹	徳田 幸男	岡本 忠美	幅 秀哉	堂前 義信	横手 寿明	加藤 真純	杉澤 敏明	西田 征洋	上野 三四二	山崎 留美子	議決結果
議案 第6号	雫石町介護保険条例の一部を改正する 条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
議案 第7号	コテージむら管理センター設置条例 の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
議案 第18号	令和5年度雫石町一般会計補正予算 (第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
議案 第19号	令和5年度雫石町国民健康保険特別 会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
議案 第20号	令和5年度雫石町御明神財産区特別 会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	可決
議案 第22号	令和5年度雫石町介護保険事業勘定 特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
議案 第23号	令和5年度雫石町介護保険介護サー ビス事業勘定特別会計補正予算(第 1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
議案 第24号	令和5年度雫石町立雫石診療所特別 会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
議案 第25号	令和5年度雫石町後期高齢者医療特 別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
議案 第28号	令和6年度雫石町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
議案 第29号	令和6年度雫石町国民健康保険特別 会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
議案 第30号	令和6年度雫石町御明神財産区特別 会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	可決
議案 第31号	令和6年度雫石町介護保険事業勘定 特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
議案 第32号	令和6年度雫石町介護保険介護サー ビス事業勘定特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
議案 第33号	令和6年度雫石町立雫石診療所特別 会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
議案 第34号	令和6年度雫石町後期高齢者医療特 別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
議案 第42号	公の施設の指定管理者の指定期間の 変更に関し議決を求めることについて (コテージむら施設・雫石町体験農園)	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	●	○	○	可決

○…賛成 ●…反対 欠…欠席 一…退席 ※岩持議長は採決には加わりません。

★その他の議案、同意、発議については全議員が賛成しました。

ここが
聞きたい

一般質問

町政を問う

8 議員が質問

一般質問は、議員が広く町政に関し報告や説明を求めたり、疑問をただしたりするものです。定例会ごとに実施されており、質問順は抽選で決定しています。

14 ページ 県の学習調査を踏まえた取り組みは

質問者 / ^{さかい なおき}坂井尚樹 議員

14 ページ 遊休農地などで飼料用作物を生産しては

質問者 / ^{はば ひでや}幅 秀哉 議員

16 ページ 雫石高校の将来ビジョンは

質問者 / ^{かね こかずお}金子一男 議員

16 ページ 焼却ごみ以外の中間処理は

質問者 / ^{やまざき るみこ}山崎留美子 議員

Q 小5と中2対象の県学習定着度状況調査結果と課題は。

A 県平均との比較で、小学校国語は0・8ポイント上回り、算数は1・8ポイント下回る。中学では国語3・5ポイント、数学1・3ポイント共に下回る。小中学校に共通している「書くこと」が課題で、授業で「教科書を読む」「板書を写す」などのインプットはもとより「発言する」、「発表する」などのアウトプットの比重をより大きくする授業

教育長 「書くこと」が課題で、授業では発言や表現の比重を大きくする

県の学習調査を踏まえた取り組みは

質問者 / ^{さかい なおき}坂井尚樹 議員

雫石冬フェスタでさらに盛り上がることを期待します。



Q 遊休農地等を飼料用作物生産に活用し、自家消費率を上げる考えは。

A 自給飼料の生産は重要な課題と捉えている。子実

町長 農地面積や耕作条件等を踏まえ検討する

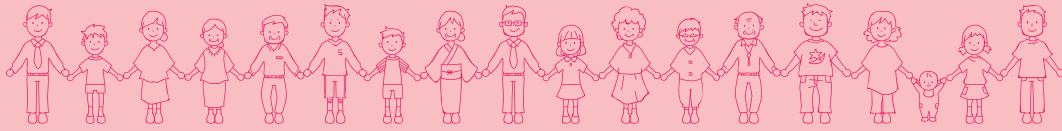
遊休農地などで飼料用作物を生産しては

質問者 / ^{はば ひでや}幅 秀哉 議員

遊休農地・耕作放棄地、百姓から百姓、ひとつ(農政)足りない。



活用を考えたい遊休農地や耕作放棄地



16
ページ

新年度から新たに取り組む事業は

質問者／^{すぎさわとしあき}杉澤敏明 議員

18
ページ

特認校制を小規模校で実施しては

質問者／^{はたけやま みさお}畠山 操 議員

18
ページ

町の防災計画への取り組みは

質問者／^{にしだまさひろ}西田征洋 議員

18
ページ

令和6年度重点とした注目施策は

質問者／^{うわのみよじ}上野三四二 議員



新たな冬のイベントとして、継続が期待される冬フェスタ

改善を進める。

冬季の観光誘客促進事業の実績は

Q 栗石冬フェスタin小岩井農場の来場者数と次年度に向けた取り組みは。

A 長年親しまれた「いわて雪まつり」に代わる町独自の冬季誘客イベントとして、2万人の来場者があった。うち町民の割合は5・6%である。イベント開催により広域的な経済波及効果としては約6700万円の効果があったものと算定している。さらなる町内の周遊により効果を波及させていくことが課題。

用トウモロコシの生産技術に取り組んでいる農家もあり、農地面積や耕作条件等を踏まえ検討する。

登録DMOに向け計画に変更はないか

Q 登録DMOに向け進めていると思うが、事業推進を精査した上で計画に変更はないか。

A 計画に変更はないが、最も重要な課題は、DMOの機能を担う観光協会の事務執行体制の改善であると考えている。登録実現に向けて、取り組みを支援していく。

不登校対策として、夜間中学やフリースクールを開設する考えは

Q 夜間中学やフリースクールを開設し、子育て寺子屋事業、子ども食堂事業と連携させ取り組むべきと思うがどうか。

A 夜間中学は県教育委員会が取り組んでおり、フリースクールは民間の取り組みと捉えている。子育て寺子屋事業、子ども食堂事業は、一定の成果を上げているが、引きつづき子どもたちの居場所づくりを関係課と連携し検討していく。

課題を残す「観光地域づくり法人」登録審査の最終年

質問者／金子一男議員



栗石高校の将来ビジョンは

教育長 ささらなる情報共有を図り事業の推進に努める

Q 合同で行う学校行事など中高生徒間交流の場を増やす新たな取り組みは。

A 栗石中3年生全員が見学会を兼ねて栗石高校を訪問し、実際の授業を受け、高校の理解を深める機会を設けた。また郷土芸能委員会の指導を受けて、よしやれパレードに参加するなど、交流活動を継続する。

Q 栗石高校コミュニティ・スクールの現状と今後の取り組みは。

A 令和5年度に学校運営協議会を設立し、協議会を2回開催した。学校と地

広域ごみ処理施設の事業費が900億円以上？住民説明が不足ですよ

質問者／山崎留美子議員



焼却ごみ以外の中間処理は

町長 方針の取り決めに向け協議

Q 焼却ごみ以外の中間処理[※]に関する協議の進展は。

A 盛岡広域8市町で構成する県央ブロックごみ処理体制検討協議会で全体的な検討を進めている。資源ごみ等の資源化処理の体制は協議している。

Q ごみの最終処分場に関する基本方針は。

A 新たな最終処分場の整備は、多くの検討期間を要する。令和5年度は中間処理体制についての協議を優先したため、最終

本町は今、課題が山積みです。一つでも減らす予算執行を望む。

質問者／杉澤敏明議員



新年度から新たに

町長 5つの柱を優先的に取り組む

Q 令和6年度から新たに取り組む事業の主なものは。

A 第三次栗石町総合計画後期基本計画におけるそれぞれの分野を横断的に捉えた「教育」、「保健・医療・福祉」、「産業」、「環境」、「安全・安心」の5つの柱に基づき優先的に取り組む。

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
第三次栗石町総合計画	基本構想 8年							
	前期基本計画 4年				後期基本計画 4年			
各種別計画	個別計画 ※計画により期間や始期・終期が異なる。							

前期から後期へ移行する基本計画

域が協働して地域の特色を活かした取り組みが行われるよう支援する。

観光振興の取り組みは

Q すぐくいし観光協会が主体となり進めている登録DMOに向け課題を残しているが、観光事業者以外の地域団体や住民、他産業の方々が参画できる体制の支援は。

A DMO推進には多様な関係者の参画が不可欠だが、地域団体や住民との接点が少ない。町が進めている「国道46号ゆるゆるアウトドア観光推進研究会」の会員には、さまざまな関係者が加入しており、各々情報共有をし相互に連携が図られているほか、地域の取り組みから出てくる資源の発掘や磨き上げなど、住民視点でのアイデアを生かしている。

観光協会に対しては地域内で結びつける機会を提供しながら、多様な関係者の参画を促している。



栗高生から踊りの指導を受けパレードに参加する栗中生

処分場の具体的な議論に至っていない。令和6年度に係る市町と協議を進めていく。



広域化が進むごみ処理

※中間処理：焼却、分別、脱水の総称

栗石高校に環境科学科の新設提案は

Q 山林を活用した探究的な学びなど、特色ある教育活動ができる環境科学科の新設を県に提言する考えは。

A 町内唯一の県立高校が地域の風土や文化を生かし、魅力ある学校となることにも、現状の普通科1学級の継続を維持できるように取り組む。

第9期介護保険事業計画は

Q 介護サービス利用者の見込数と、利用者1人当たりの介護保険給付費の見込みをどのように算定したか。

A 利用者の見込数は、今後3年間の標準給付見込額や地域支援事業費、また人□及び介護認定者数の推移を見込んで算定している。第9期計画期間の最終年度である令和8年度の利用者数は1129人となる見込みである。また標準給付見込額は月額6500円となる見込みである。

将来の小学校統合への対応は

Q 近い将来、小学校の統合が必要になってくると思うがその対応は。

A 町の出生数は年々減少傾向にある。若手県が示す学級編成基準では、引き続く2学年において16人以下となった場合に複式学級とすることとされている。令和9年度に御所小学校で1学級が複式学級となることが見込まれるが、そのほかは、今後5年間で複式学級とはならないと見込んでいる。今後適正規模について注視し検討していく。

楽しくなければ学校
じゃない！
子どもファーストな
学校を創ろう

質問者／はなやま 畠山 みさお 操 議員



特認校制※を小規模
校で実施しては

教育長 現時点では考えてい
ない

Q 小規模特認校制度を導入し、町外から
児童生徒を募集しては。

A 学校や地域の特色を理解して、町に移
住していただくには時間が必要であ
る。また募集側である町の明確なビジョンを
作る必要があることから、現時点での実施は
考えていない。

子どもが主人公の
新しい学校づくりを

能登半島災害を受
けての防災対策
我が町は大丈夫で
しょうな!!

質問者／にしだ まさひろ 西田 征洋 議員



町の防災計画への
取り組みは

町長 町地域防災計画に基
づき、対策を講じている

Q 能登半島地震をきっかけに、町の被害
想定の見直しの必要性はないか。

A 国や県からの情報収集及び連携を図
り、被害想定などが修正された場合は、
これまでと同様に速やかに町地域防災計画な
どの見直しと整合性を図っていく。

牛舎の電気料金に対する助成は

Q 厳しい経営の酪農家へさらなる電気料
金の助成を。

農業・観光など若者
や新住民が期待する
目新しい予算欲し
かったなあ

質問者／うわのみよじ 上野 三四二 議員



令和6年度重点とし
た注目施策は

町長 各産業の諸問題の支
援や事業の推進に取り組む

Q 令和6年度、農林業、商工観光部門の
重点施策は何か。

A 農業者に対する経営持続化等の支援、
農地整備や土地改良の推進、クマや有
害鳥獣の農産物被害対策、私有林の森林整備
の新たな支援制度創設の検討、観光商工分野
は関係交流人口創出、企業誘致の推進等に取
り組む。

Q 宿題や通知表の廃止、探究学習として動物の飼育や自然観察などから国語、算数を学び、子どもの主体性に任せる小学校を導入しては。

A 宿題を廃止した場合、児童生徒がゲームなどの時間を増やすことが想像できることから、児童生徒が学習内容を選択できるよう工夫する。通知書の廃止は保護者への説明責任や意向にも配慮が必要であることから検討する。また、探究学習は、各校の取り組みの充実に向け指導していく。

※特認校制：通学地域に関係なく当該市町村内のどこからでも就学を認める制度



体験学習で動物と触れあう児童たち

A 「農業経営持続化緊急対策給付金」を給付したところであり、現時点においては、さらなる追加支援の考えはないが、今後の物価高騰などの動向を注視し、必要に応じて追加支援を検討する。



全国に誇れる温かくおいしい
自校式給食

学校給食の無償化を

Q 全国の小中学校において給食費の無償化が進んでいるが町でも無償化を進め

A 学校給食費の半額助成は実施しているが、現在のところ導入する考えはない。安全安心な地産地消給食を進め、温かくておいしい自校式の学校給食を提供し、子育てを支える「栗石型の学校給食」に取り組んでいる。

協定福祉避難所は
非常時に役割を果たせるか

Q 災害等非常時対策として、協定福祉避難所※は非常時に役割を果たせるのか。

A 平成27年に民間4施設と協定福祉避難所の締結時にマニュアルを作成し、具体的な対応策等を共有している。マニュアルの内容を実践することで、福祉避難所としての役割を十分に果たせるものと考えている。

※協定福祉避難所：要配慮者を受け入れるために特別な配慮がなされている避難所で、自治体と協定を締結している

いわての復興教育の取り組みは

Q いわての復興教育に取り組み、児童生徒、学校はどう変わったか。

A 復興教育の取り組みは、既に学校に定着して

いることから、ふるさとを思う心や災害に備える知識と態度も順調に育つていると捉えている。



各学校で活用されている「いわての復興教育」

総務産業常任委員会

[徳田幸男委員長]

調査 1 災害対策 大規模災害への備え

3月6日、所管課である防災課より、能登半島大地震の発生を受けて町の大規模災害時の備えについて聞き取り調査をしました。予想される災害や町の体制、救援活動体制、高齢者の医療・介護体制、住宅の耐震調査状況、備蓄状況等を確認しました。今後の取り組みとして全庁体制で研修や訓練を実施しながら来たる災害に早期かつ適切な対応ができるよう進めるとのことでありました。

調査 2 雫石銀河ステーション 店舗利用状況

3月6日、所管課である観光商工課より、雫石銀河ステーションの店舗利用状況について聞き取り調査をしました。今後の計画として、レストランは入居希望者3者の中から事業者を選定し契約締結に向けた協議を進めるとのことで、産直コーナーは出店希望者と契約締結に向けた話し合いを進めている状況であることなどを確認しました。

調査 3 更新する設備等の現状 しずくいしアグリリサイクル センター視察

3月6日、しずくいしアグリリサイクルセンターの更新を必要とする設備等の現状について説明を受けました。堆肥化する機械の消耗が著しく破損した場合には、施設が稼働できなくなるため機械の各部品を交換して故障の発生を防ぐとともに今後の活動を維持するとの説明を受けました。



消耗が著しい機械を確認する委員たち

教育民生常任委員会

[堂前義信委員長]

研修 1 先進地視察 コミュニティ・スクールの 活動状況を研修

1月12日、秋田県能代市立二ツ井小学校で先進地視察研修を行いました。

二ツ井地区の地域学校協働活動推進員との意見交換会の中で、学校運営協議会が5年前に設置されてその後中心となって教育委員会、地域住民と保護者、校長・教職員との連携が一体化となって活動しているコミュニティ・スクールのしくみについて説明を受けました。



秋田県能代市立二ツ井小学校で説明を受ける委員たち

調査 1 自校方式での給食提供 安全安心でおいしい給食

3月7日、御明神小学校給食室で調理状況を見学しました。見学後、児童・教職員と一緒においしい給食を食べ意見交換を行いました。

調査 2 地球温暖化対策 今後の取り組み

3月7日、所管課である町民課環境対策室より、町の地球温暖化対策事業の取り組みについて聞き取り調査しました。

今後対策に関する町民並びに事業者の関心や意識を高め2030年度CO₂排出削減目標として2013年度比57%を目指します。

広報広聴常任委員会

[坂井尚樹委員長]

研修
1

議会だより 令和5年度(第42回)岩手県町村議会 広報コンクール奨励賞受賞

令和5年10月発行しずくいし議会だより第127号が奨励賞を受賞しました。町民の皆様にはわかりやすく読んでいただくことを第一に、編集した成果と思っています。

今後も皆様のご意見、ご提言を参考にし、より読みやすく分かりやすい紙面づくりをしていきます。ご協力いただいた方々に感謝申し上げます。



おかげさまで県町村議会広報コンクール奨励賞を受賞しました

視察対応

1月29日

山形県中山町議会 議会広報常任委員会
委員会5名 事務局1名 来町

2月8日

宮城県七ヶ浜町議会 広報広聴常任委員会
委員会7名 事務局1名 来町

議会広報「議会だより」作成時における編集方針、スケジュール、企画、レイアウト、特集の組み方など活発な意見交換を行いました。

○令和6年1月11日、16日、18日

議会だより128号校正の編集会議を開催しました。

○令和6年1月25日

議会だより128号発行

○令和6年2月29日

議会だより129号の編集日程及び閉会中の継続調査について協議しました。

議会運営委員会

[幅秀哉委員長]

先進事例調査

議会活性化（議会改革）に関する 取り組みを研修

1月30日から31日にかけて岩手県平泉町、宮城県利府町で先進事例調査を行いました。平泉町では、政務活動費の活用状況、町民との懇談会について研修しました。早くから議会改革に取り組み、多様な住民意思の反映、専門性向上の必要性を踏まえ、議会としての機能を十分発揮できるよう議会改革を推進し調査してきたとの説明を受けました。利府町では、議員定数と議員報酬の改正、開かれた議会運営に関する取り組みについて研修しました。議会の活性化と町民に開かれた議会、町民の信頼に応えられる議会を構築していくための事例を学びました。今回の研修を議会改革へ繋げていきます。



利府町議会で学ぶ委員たち



わかまつ たかこ
若松 孝子さん (62歳・榊沢)

心温かい人々

雫石町に嫁いで39年です。主人と二人三脚で始めたクリーニング店もお陰様で37年を迎えることができました。仕事に雄大な岩手山や四季折々の景色を見て心が癒されています。雫石町の方々の温かい心遣いに感謝しています。



やまだ ゆうたろう
山田 祐太朗さん (33歳・小岩井)

岩手山だけじゃない

麓から見る岩手山はもちろんですが、普段何気なく見渡している山々からの眺望も最高です。岩手山と御所湖を望める男助山。ロープウェイからの景色の後に雫石の田園や隣県の山々まで見渡せる高倉山。手軽に登れる生森山からの雫石の町並み等。飽きることがありません。

VOICE

No.24

皆さんの声を聞きました

議員が町内を歩いて
皆さんの声を聴く VOICE シリーズ。

今回は「しずくいしの宝物は？」です。



そでばやし あすま
袖林 亜須磨さん (19歳・中沼)

スポーツの町雫石

雫石町は、自然が豊かでスポーツも盛んです。町全体でスポーツをする人を応援してくれたり、環境を整備しているので安心してスポーツができると思います。



かくた ただあき
角田 匡昭さん (39歳・晴山)

3つのスキー場

青森県から移住してそろそろ7年です。私が雫石を選んだ理由は3つのスキー場があることです。朝寝坊しても余裕で滑れる。午前中だけ仕事をして午後に滑りに行くことも。しかも、3つのスキー場の中から選べる。こんな贅沢なことが当たり前環境にある雫石はすばらしい町です。



ふるさとの同じ祖を持つ家族かな

園児の頃、20余軒の安庭商店街に2軒の鍛冶屋があった。火と槌の古老を何度か覗いたが、それが名工刀匠・奥州御所住吉光であり、奥州御所は鎮守府將軍平親王の御所館が由来等、後に知ること数多い。

天皇家分裂の南北朝期、南朝公家將軍・北畠顯信あきのぶは居城の雫石・沢内の両盆地を親王一族の戸沢に託し八戸南部・伊達・白河結城の奥州軍を率い鎌倉を占領。京の北朝足利軍も破り、伊勢国司を弟顕能あきよしに託し大群相手に吉野へ消える。兄顕家や南部藩主師行もろゆきら百八名が堺浜で散り、都人が騎馬の花將軍と祀る一族だ。敗戦で三種の神器は南朝天皇家から幕府・北朝に渡り、南朝公家らの奥羽落人おちゅうどがあり今に至る。

昨春、妻の先祖情報を他県学芸員から頂き驚いた。「奈良、大阪の前は伊勢北畠随行の奥州棚倉藩玉野…」その時、郷土史サイト滴石史談会閉鎖を知る。

故郷は戦乱や大火ほだいじで菩提寺や史料を焼失。將軍屋敷町跡も湖に消えて久しい。南部藩家老末裔の官僚と国務の際、秀吉仕置や一城令で雫石、川口等の廃城と雫石移住を知る一方、二大都・平泉、筏道・御所路、盆地口/繫・元御所に平家史碑、領地中央の町場・戸沢・大宿の羽州道/沢内路、安庭の筏奉行・型染屋敷まがきの・籬野屯所・古墳の無知も知る。遠戚の高望親王流たかもちの平氏研究家・細川久美氏（元御所賑い屋敷筋）は臥し、公設歴史サイト再興と活用・発信が急がれる。

古来より山紫水明いでゆな出湯の雫石は岩手山南麓あんの安

寧ねいな四季の箱庭だが、公家大名ら落人の廢都でもある。古の領主はアシタカ伝説の祖・騎馬王アテルイいにしえや天空の鬼ヶ城・大武丸に始まり、安倍一族、平/桓武平氏、藤原/平泉、工藤・北条/鎌倉源氏、戸沢/大和平氏・北畠/後醍醐天皇、斯波しば（三管領）/河内源氏、南部/甲斐源氏へと変遷。古の郷民は畿内へ拉致ふしゅう・俘囚の一方、戦乱毎に畿内・平泉、鎌倉・畿内、甲斐・加賀等からの転封一族や改易帰農民らも流入。明治の復姓表家紋で古の落人・大名姓残る奥羽の里となる。

一方、郷土ゆかりの末裔は全国にいる。征夷大將軍坂上田村麻呂が黄金略奪・エミシ侵略の惨劇に京の自宅を寄進し清水寺を建立。郷民末裔の苦難をアテルイ法要や公家無き京に知る。他に肥後・伊予等の国主、英国密航志士の鉄道之父、四国・九州流刑を経て昭和～令和の首相等輩出一族、理想郷童話作家等、太平記や勝者歴史書以外の秘話や弁慶にも縁を感じる。

さて、人は誰もが父母二人、祖父母四人と遡る毎に2の乗数倍で先祖が増える。仮に南部藩以降437年が20世代なら母数百万。盆地内結婚・人口平均一万なら町民の先祖は平均百箇所重複の同族に近い。

さらに東京圏の雫石縁者は町民人口を超えた可能性もある。上京者が駅開設から数世代想定できるからだ。今や隠れ縁者も準町民と言えまいか。そこで全国の縁者にも伝えたい。望郷ほんぼこ狸の様に集い、同郷・同族・末裔と無事の再会を祝いたい。「マンツ来テクナンセ。ジャッジャッジャー！」だ。



2015年御所中の還暦同窓会で

1955年生まれ。旧姓細川。安庭小、御所中、国鉄東北鉄道学園（車両工作/工高連携）、盛岡工場（電機/技能五輪）、中央鉄道学園（大学課程）卒。博多勤務を経て（公財）鉄道総研に永年奉職。資格：技術士（機械）等。現在、JRIPEX技術士事務所（総代表/コンサル）。他、立川市WS委員/協議会委員（総合政策部/街づくり部）、トトロ財団/在京盛岡広域産業人会等会員。立川市在住。

雫石町へようこそ

＼ ご縁があり、雫石町民になった ／

よねざわ りゅう
米澤 竜さん (30歳) | 大村 | ※岩手県滝沢市出身

Q 雫石に移住したきっかけは？

A 結婚を機にのんびり過ごせる場所を探し、ここ大村にたどり着きました。

Q 雫石町に暮らしてみているかがでしょうか？

A 夫婦で移住し5年、子どもも授かり自然に囲まれ家族みんなでのびのびと過ごせる町です。地域の皆さんが優しく住みやすいです。

Q 町へ望むことは？

A さらに子育て世代へ優しい町になってほしい。同世代の方の移住が増えればうれしいです。



お家の塗装の事ならお任せください

なかよしシリーズ②④

今月の表紙

写真左から 萌衣さん
紗季さん
翔さん



いしづかしゅんき みき
石塚俊輝さん、美希さん（中町一）のお子さん
なかよし3人きょうだいです。

将来の夢は何ですか？

長女 萌衣さん(7歳)：パン屋さん
長男 翔さん(5歳)：お菓子屋さん
次女 紗季さん(2歳)：アンパンマン

情報公開

●議長交際費執行状況

【議長交際費とは】

議長等が議会を代表し、外部との交渉、情報収集、町政協力者への謝意を表すために係る経費で、会費や香典などです。

【議長交際費内訳（1月～3月）】

月	葬祭費	お祝い、会費
1月	1件 20,000円	3件 14,000円
2月	0件 0円	6件 47,000円
3月	1件 20,000円	3件 16,000円
合計	2件 40,000円	12件 77,000円

※議会の動きはHPに掲載しています。

■編集デスク

町民懇談会（議会報告会）はインフルエンザで欠席してしまい申し訳ありませんでした。体調管理に注意していきます。

さて、昨年の改選で広報広聴常任委員となり3回目の議会だよりの発行となりました。「今月の表紙」の担当でしたが3組目のアタックでようやく決まりました。やはり、3人以上の兄弟姉妹を探すのは簡単にはいきませんね。任期中にあと何回か表紙を担当しますので、表紙に出てみたいという方は、こっそりと畠山までご連絡ください。

（広報広聴常任副委員長 畠山 操）

発行責任者(議長)／岩持清美
編集委員長／坂井尚樹
副委員長／畠山 操

編集委員／岡本忠美・徳田幸男
金子一男・高橋公史
小笠原百合子

